

愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2020年度	開講期(Semester)	前期
授業科目名(Course name)	情報メディア論		
担当者(Instructors)	船木 恵一	配当年次(Dividend year)	2
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	選択
実務家教員科目(Pro teacher course)			

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

本講義ではメディアの変化に伴う情報流通と社会の影響について学んでゆきます。古代から近代にかけて、どのようなメディアが誕生し社会にどのようなインパクトを与えたのか。また現代ではデジタル化の進展で、メディアはどのように変化しているのか。記憶媒体の技術論ではなく、メディア史やマスコミ理論を通じてメディアリテラシーを高め、メディアと情報の関係を探求してゆきます。

■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	講義
授業の方法(Class method)	毎回主要なテーマ(問い)を設定し、問いに関する回答及び関連する知識を講義形式にて説明・学習します。学生は予習・復習することによって、テーマに関する理解をより深めることができます。
当該科目と実務との関係(Relationship between course and practice)	現代メディアのテーマに関しては、広告メディア業界における27年間の実務経験をもとに、メディア産業及び企業のメディア活用の視点を取り入れます。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	ブリーフィング	講義の進め方、予習のポイント、毎回のレポート作成と提出の説明	<input type="checkbox"/>
第2回	メディアとは何か、マスメディアとは何か	マクルーハン理論など、メディアに関する様々な論点を知る	<input type="checkbox"/>
第3回	文字の誕生や紙の誕生はどう起こり世界に広まったのか	古代史における文字の影響と紙の普及過程、軽いメディアと重いメディアを理解する	<input type="checkbox"/>
第4回	印刷技術はヨーロッパをどう変えたのか	活版印刷が生産したものと、西欧人の意識変化、東洋との違いを理解する	<input type="checkbox"/>
第5回	新聞の誕生～メディアの公共性とは何か	新聞メディアの発展の歴史とメディアの公共性の意味するものを理解する	<input type="checkbox"/>
第6回	テレビが人類にもたらしたものは	テレビメディアの興隆や文化産業の誕生が与えた社会への影響を理解する	<input type="checkbox"/>
第7回	前半まとめ	クイズ形式による前半講義の振り返りと、キーワードの復習を行う	<input type="checkbox"/>
第8回	インターネットはどう誕生し普及したのか	コンピューター開発の歴史を通じてインターネット社会形成の経緯を理解する	<input type="checkbox"/>
第9回	メディアのデジタルシフトとはどういうことか	インターネットがマスメディアにどのような影響を及ぼしているかを理解する	<input type="checkbox"/>
第10回	アルゴリズム消費社会とはどういう社会か	人工知能がもたらすメディアにおける情報流通の法則性を理解する	<input type="checkbox"/>
第11回	5Gでビジネスや暮らしがどう変わるのか	第5世代通信システムがもたらす情報流通の変化とインパクトを理解する	<input type="checkbox"/>
第12回	プラットフォーム競争とは何か、誰が誰と競争しているのか	VODやサブスクモデルがもたらすメディアビジネスの変化を理解する	<input type="checkbox"/>
第13回	デジタルネイティブとは何か、その特徴とはどういうものか	マスメディア～ネット時代の日本人のメディア意識の変化について学ぶ	<input type="checkbox"/>
第14回	20世紀の2つのメディア革命とは何か	20世紀におけるアナログメディア革命とデジタルメディア革命がもたらしたインパクトを理解する	<input type="checkbox"/>
第15回	後半まとめ	クイズ形式による後半講義の振り返りと、キーワードの復習を行う	<input type="checkbox"/>

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

初回と前後半のまとめ授業回以外は、毎回必ずテーマ（主要な問い）について2時間程度調べ、問いの回答を講義冒頭でレポートできるように予習してください。講義終了直前に、授業前に調べた内容と講義内容を照らし合わせ、学びのポイントをレポートします。講義後は、新たな疑問点を抽出するなど、2時間程度復習することで、テーマやキーワードの内容の理解を深めてください。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

毎回所定のフォーマットを配布します。 講義後に課題内容を記入。 各自の学びのポイントを整理して提出します。フォーマットには講義への要望なども記載可能ですので、教員とのコミュニケーションが図れます。記入内容は添削・採点の上、翌々週に返却しフィードバックを行います。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
思考力・判断力・表現力	◆ 2019地域ビジネスDP2	メディアと情報流通を社会全体との関連で幅広く思考し、多面的な判断の上、自分の考えを発信できる。

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
			100%	

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

平常評価は出席点ではありません。毎回のレポート（配布フォーマットへの記入と提出）の内容を評価します。また、前期中に2度の論文課題の提出を求めます。

■テキスト(Textbooks)

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	ありません。教員が毎回のスライドと配布資料を用意します。	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	「現代メディア史」（佐藤卓巳、岩波書店）	4-00-026015-4
2	「メディア文化論」（吉見俊哉、有斐閣アルマ）	978-4-641-12487-5
3	「マクルーハン理論」（マクルーハン+カーペンター、平凡社）	978-4-582-76461-1
4	「ポストモダンのメディア論」（水野博介、学文社）	978-4-7620-2434-4
5	「ソーシャルメディア進化論」（武田隆、ダイヤモンド社）	978-4-478-01631-2